

このまちの100年

「厚木」

厚木は江戸時代に大山道、八王子道、相模川が交わる宿場町となり、明治期以降は鮎漁などの観光でもにぎわいました。昭和2年の小田急線開通などで都市化が進み、昭和30年に厚木市が誕生しました。



幕末期

江戸時代の厚木は、江戸からの大山詣りでにぎわう大山道の宿場町だった



大正期

明治41年に開通した相模橋。現在のあゆみ橋付近に架けられていた



大正期

厚木付近の相模川。帆掛け船が見える



昭和3年頃

小田急線の本厚木駅は昭和2年に開業した



昭和5年頃

相模川で鮎漁を楽しむ屋形船



昭和48年

小田急ロマンスカーから撮影した本厚木駅

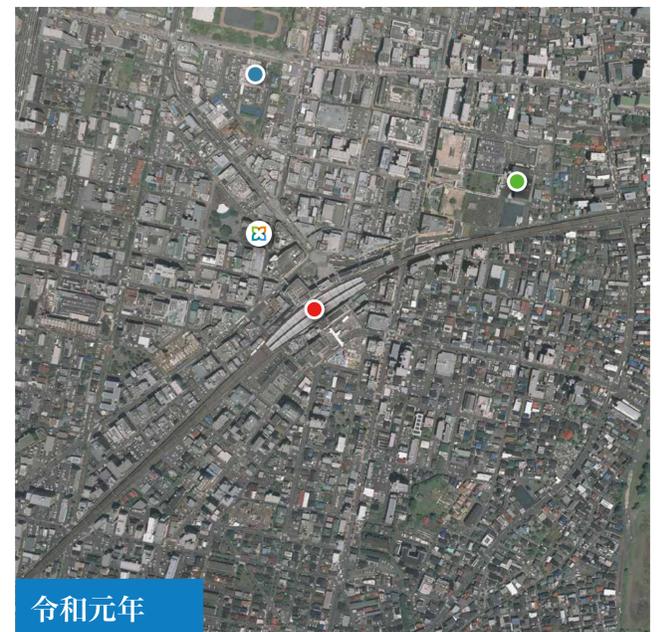
上空からみた厚木エリア



昭和21年



昭和53年



令和元年

ⓧ : 現在地
● : 厚木町役場／厚木市役所 ● : 厚木町立厚木小学校／厚木市保健福祉センター ● : 本厚木駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」（一部加工）

編集：株式会社コロマチ